



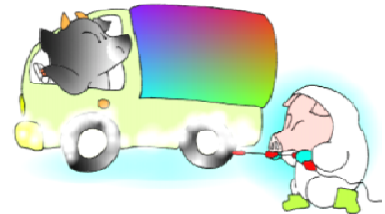
口蹄疫 疑似患畜の殺処分・と体の埋却完了

- ・宮崎県では、口蹄疫の疑似患畜（291例、199,293頭）全ての殺処分・と体の埋却が6月24日完了しました。
- ・引き続き、ワクチン接種家畜（牛45,827頭、豚79,603頭）の殺処分・埋却が実施されます。
- ・疑似患畜の処理は、ひとまず完了したものの、まだ、汚染物（糞・しき料等）の処理が残っており、口蹄疫ウイルスが残存している可能性が否定できない状態です。

各自が今一度、口蹄疫ウイルス侵入防止の対策について点検・見直しを行い、万全の防疫体制の維持に努めましょう！



ハエの駆除も
しっかりと！



口蹄疫ウイルスの侵入・拡散 防止のために！

畜舎に出入りするときには、手指や長靴の消毒、作業服の交換などを徹底しましょう！

関係者以外の農場への立入りは極力控えましょう！
また、立入る場合は、農場専用の着衣、長靴などを着用してもらいましょう！

立入りの記録は、しっかりつけることを日課としましょう！

大切な家畜の健康観察は毎日、丁寧に行いましょう！

おかしいなと思ったら、すぐに獣医師または家畜保健衛生所に連絡しましょう！

*次ページもご覧ください。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp
ご不明な点は、市町村担当者、獣医師もしくは家畜保健衛生所までご相談ください。

家畜衛生情報

岐阜県では、主に以下のような対策を講じています

万一の発生に備え口蹄疫対策本部を設置(県・5圏域)しました。

発生時の初動防疫にかかる、器具・資材などを購入して、迅速な防疫対応に備えました。

発生に備えた各種調査を実施しています。

・偶蹄類の動物飼養施設調査(農場、公園・学校等施設)など

県民への情報提供・注意喚起を行っています。

5圏域の現地対策本部で発生時の対応準備など実施しています。

生産者、市町村、農協などと対策について意見交換を実施して的確な防疫対応に努めています。

* 初動防疫(概ね発生から3日間)用に、緊急配備された防疫資材(動力噴霧機、防護服、埋却用シートなど)

